

# データを活用した喜沢小学校の取組

- ・ 一人一人の興味・関心に応じた学びの充実のための弾力的な教育課程の編成
  - ・ 個別の教育的配慮を要する児童への特別な教育課程の編成
- 

戸田市立喜沢小学校  
校長 加藤 貴嗣

# データを活用した 喜沢小学校の取組

- ・一人一人の興味・関心に応じた  
学びの充実のための  
弾力的な教育課程の編成
- ・個別の教育的配慮を要する  
児童への特別な教育課程の編成



一人一人の  
多様なWell-beingを実現する

すべての子供と大人が  
「私は何をしに学校へ？」に  
答えることができる学校

# 誰一人取り残されない「主体的・対話的で深い学び」 脱・みんな一緒を実現する多層型支援システム

学びが  
楽しい

学校生活が  
楽しい

## 第1層支援（全員が対象）

全ての児童が「学校生活が楽しい」「学びが楽しい」と感じられるための**全体的な支援**

非同期の学び

学びの選択、自己調整力の向上、環境調整  
教科の本質をとらえた授業改善等

スクールワイドPBS

行動支援計画、児童・教師キャンペーン  
環境調整、学級経営×応用行動分析等

プロジェクト  
RTIミーティング

プロジェクト  
児童理解・支援ミーティング

## 第2層支援

第1層支援だけでは効果が十分に  
得られない児童への配慮や  
追加の支援

少人数での指導

追加ヒント・教材提供等

喜沢っ子支援ファイル、  
意図的・計画的な称賛・承認等

プロジェクト  
RTIミーティング

プロジェクト・サポートミーティング  
ケース会議・就学支援委員会

個別の指導計画、個別指導等

個別の行動支援計画、個別支援等

## 第3層支援

第2層支援だけでは効果が十分に  
得られない児童への**個別的支援**

多層支援型支援を行うことで、第3層支援が必要な子供への個別的支援が充実  
→誰一人取り残されない学びの実現

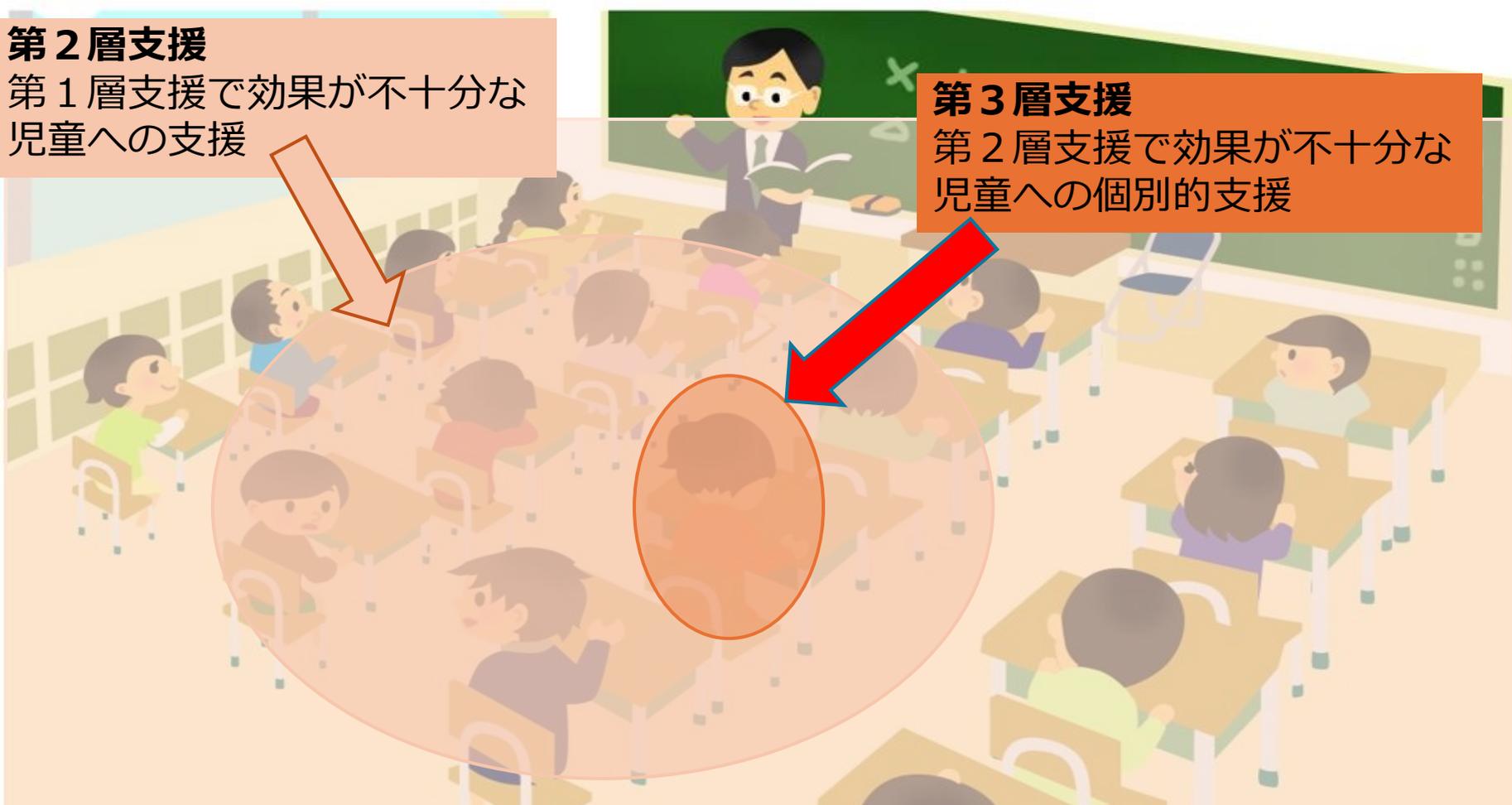
# 「学校生活が楽しい」「学びが楽しい」100%をめざして 【多層型支援システム】

## 第2層支援

第1層支援で効果が不十分な  
児童への支援

## 第3層支援

第2層支援で効果が不十分な  
児童への個別的支援



## 第1層支援（できるだけ多くの児童が自分で学べる…理想は9割）

全ての児童に自分に合った学び方を提供する非同期の学び

全ての児童の望ましい行動を増やしていくポジティブ行動支援

# ダッシュボード【データの一元化・共有化】

## 戸田市共通

出欠状況  
保健室利用状況  
いじめに関する記録  
長欠調査  
教育相談  
授業がわかる調査  
県学力・学習状況調査  
Q-Uアンケート  
学校生活アンケート  
Ai GROW  
RST（リーディングスキルテスト）

×

## 喜沢小オリジナル

生徒指導記録  
保護者記録  
専門員記録  
ぱれっとルーム記録  
サポートミーティング  
支援ファイル  
(日本語指導記録)

- ・ データの一元化  
→ 「どこに？」から「ここに！」
- ・ 学校で入力  
→ タイムラグなし

「どんな？」から「これが！」

# 誰一人取り残されない 非同期学び

脱・みんないっしょ、自分の学び方で自分のペースで

## RTIミーティング

### Response To Intervention

#### 支援への反応

データをもとに児童の得意・不得意の傾向を発見  
教師の協働による教材研究・授業改善

第1層支援の充実

# RTIミーティングの様子

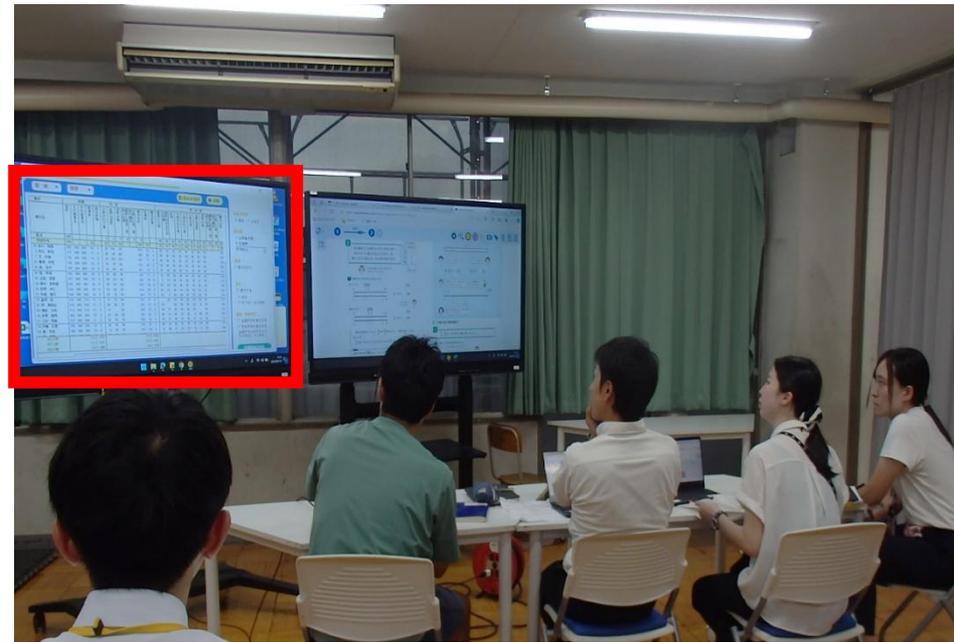


# RTI (Response To Intervention) ミーティングのサイクル

【月1回・**データを活用した**多層型支援の効果検証・**授業検討会**】

## 活用するデータ

単元テスト(今年度・前年度)、全国及び県学力・学習状況調査、学びに向かう様子の記録、**児童による学習の振り返り**、デジタル教科書、まなび教材、教材や学習コーナーの画像や動画 など



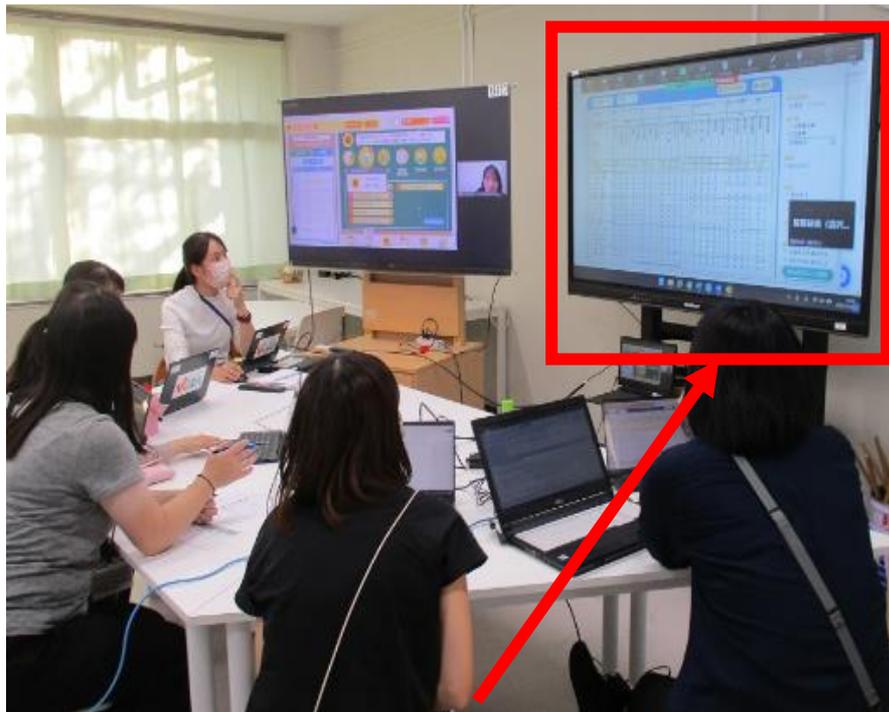
学習データ（単元テストの結果）をもとに効果検証を行い、第1層支援の授業改善、第2層、第3層への追加支援や見直しを検討する。



効果検証の結果をふまえて、デジタル教科書を使いながら、教材研究、単元デザイン、授業づくりを行う。

# RTI (Response To Intervention) ミーティング

【**データを活用した**多層型支援の効果検証・授業改善・月1回・**授業検討会**】



市販の成績入力ソフト (今年度・前年度)  
デジタル教科書 県学力・学習状況調査  
まなび教材 学びに向かう様子の記録  
教材や学習コーナーの画像や動画 など

前回のミーティング  
で考えた手立ての効  
果をデータをもとに  
検証

検討した支  
援策を授業  
で実施

今回の単元  
に関するデータ  
を分析、第1  
層支援を検討

**個・全体のスキルアップ」のループ**

## 教育データの活用期待する成果

- データ活用で、経験の少ない若手教員も自分の考えを発言することができる。
- データ活用で、教師の思い込みによる指導を防ぐことができる。

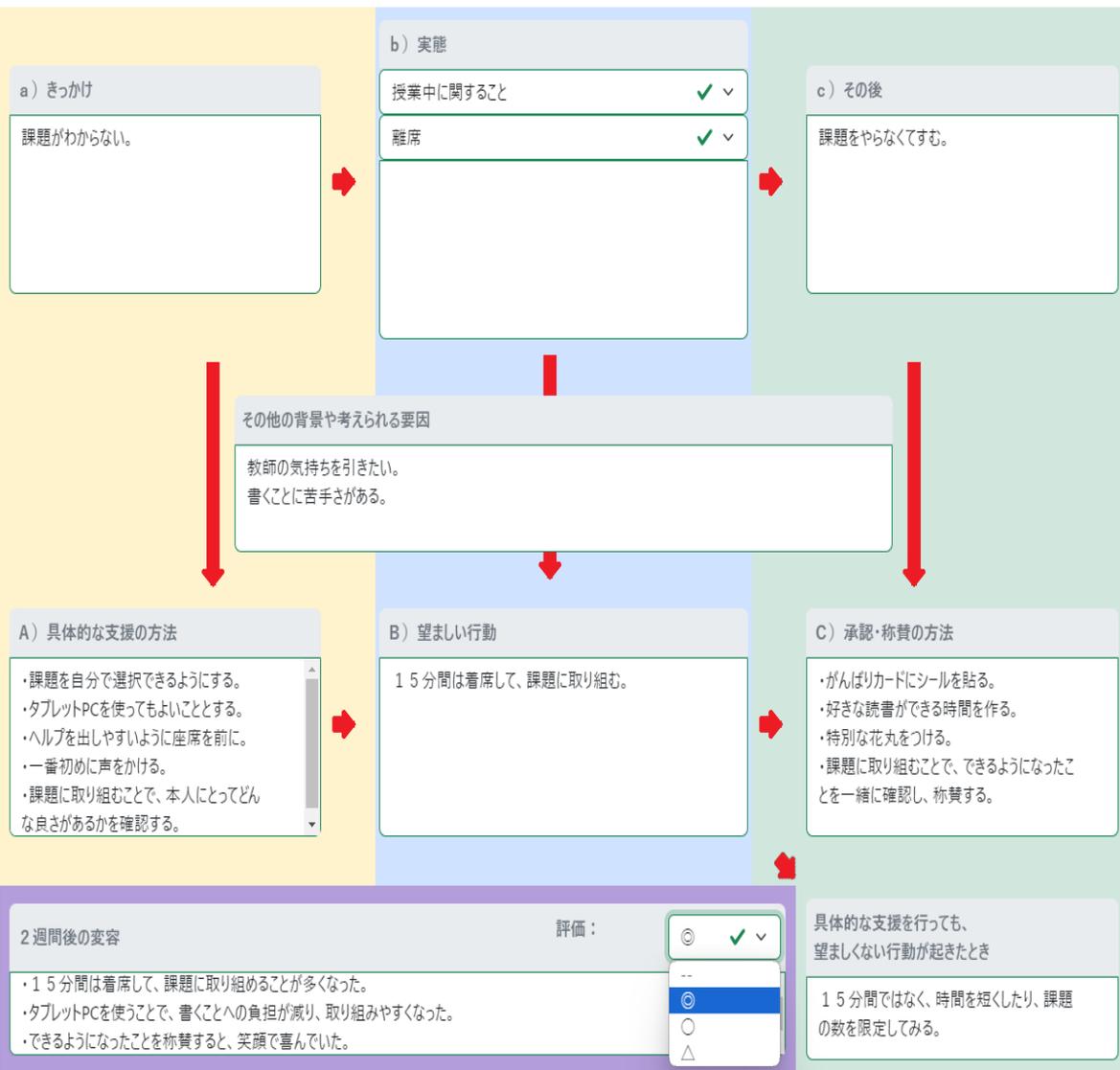
## ④サポートミーティング

個別の支援策検討



# ABC分析で行うサポートミーティング

【第3層支援対象・週1回・15分でのケース会議・同時開催可】



年	組	名前					
日付	時間	場所	教科	OX	b行動	aきっかけ	c結果
	1時間目	校庭	国語	X	離席	授業が嫌	逃避
	1時間目	教室	国語	O	授業参加	担任にほ...	いいこと...
	1時間目	教室	国語	X	離席		感覚刺激...
	3時間目	校庭	体育	X	暴言	友達トラブル	目をひく
	3時間目	校庭	体育	X	物に当...	授業が嫌	目をひく
						苦手教科	
						予定の変更	

- ・ABC行動フレームの考え方を生かすシート
- ・現状とゴールの行動をBとしてAとCを考える
- ・現状のabcは特別支援コーディネーターがアセスメントをして、担任と記入
- ・ゴールの望ましい行動Bは学年等で決定
- ★サポートミーティングではB確認 → AC検討
- ・2週間後の変容を見取り再検討
- ・b実態はカテゴリー選択し、2週間後の変容を評価する

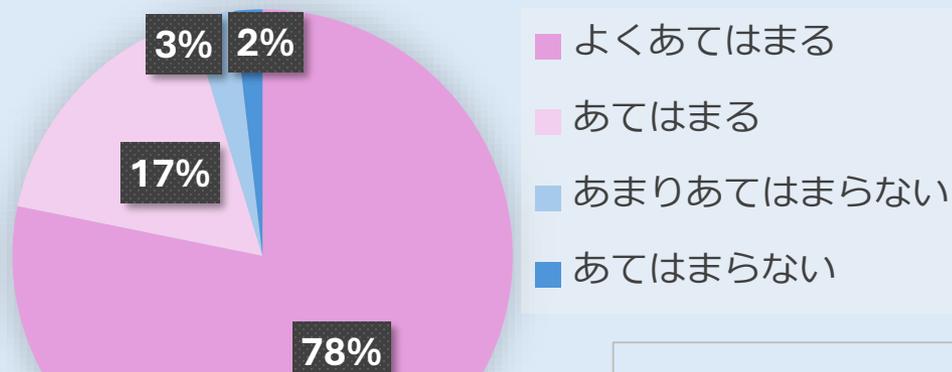
「グッドプラクティス・バッドプラクティスの蓄積→共有→効果的な支援」のループ

## 教育データを活用した成果（教師）

- RTIミーティングで単元テストの結果を活用した。個別の児童の苦手や得意の把握だけでなく、集団としての苦手や得意の傾向を把握することで、第1層支援の充実につながった。
- RTIミーティングをとおして、教材研究のアイデアを考え、授業づくりや児童の把握などの視野が広がった。
- RTIミーティングやサポートミーティングなど、教育データを活用した話し合いによって、問題解決の視点の持ち方を意識することができるようになった。
- RTIミーティングで第1層支援、学習の環境調整を行った結果、児童が自分で学習に取り組むようになってきた。学習の達成感を感じる児童が多くなった。児童が単元の目標を捉え、計画を見通すことで自走できるようになった。
- 教育データを活用することは情報共有だけでなく、多角的に原因を考察したり、対応を検討する資料として活用したりできるのでよかった。
- 記憶を頼りの話し合いでなく、記録をもとに話し合えるのが建設的で効果的だった。

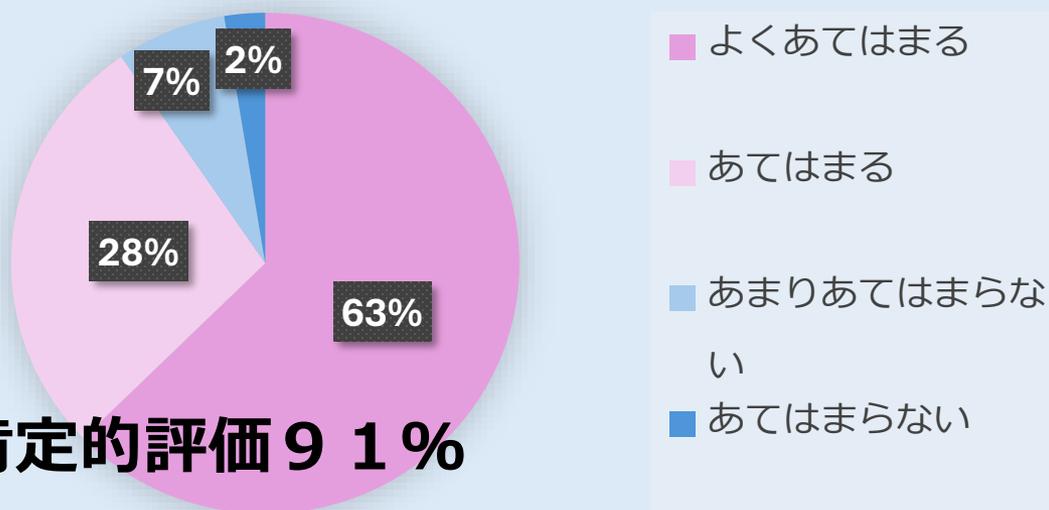
# 教育データを活用した成果（児童のアンケート結果）

## R6 学校生活が楽しい



肯定的評価 95%

## R6 学びが楽しい



肯定的評価 91%

## 教育データを活用した課題（教師）

- ▲算数では単元テストの結果を活用し、一人一人の児童や学級・学年集団の学習状況を把握することができたが、国語は単元テストのデータでは、児童のつまずきを把握することが難しい。
- ▲定量的なデータだけでなく、児童の学習の振り返りなど定性的なデータの取り方と、そのデータの蓄積の方法を考える必要がある。
- ▲サポートミーティングでは、児童の行動を分析したことを入力できるようになっているが、応用行動分析が難しい。特別支援コーディネーターが聞き取りをして入力しているが、ダッシュボードに選択肢の機能など教員が入力するための支援があるといいと思う。